

●次の4題から2題を選択して、別の解答用紙の指定された場所に解答する。

この問題紙に解答しても採点しない。この問題紙は持ち帰ること。

- I 「第二次世界大戦後、国際社会は急速に拡大した」という命題に関して、次の問に答えよ。
- (1)ここでいわれる「国際社会」を定義する。
  - (2)「急速に拡大した」ことはどのような具体的事実関係でもって示されるか。
  - (3)この命題の通りならば、「国際社会」は新たにどのような問題を抱え込んだと考えられるか。考えを述べよ。
- II 「近年、国際社会において主権国家の位置は相対的に低下している」という議論に関して、次の問に答えよ。
- (1)「主権国家」とは何か、定義する。
  - (2)「低下している」ことは具体的にどのように示されるか、考えを述べよ。
  - (3)この議論に対して、「少なくとも低下していない」事例を挙げて、反論を試みよ。
- III 「第二次世界大戦後、武力紛争は国家間の戦争ではなく、むしろ地域間、民族間の局地戦である場合が多い」という主張に関して、次の問に答えよ。
- (1)ここでいう「戦争」を定義する。
  - (2)この主張が区別する、戦争と局地戦の差異はどこに求められると思うか。
  - (3)この主張を離れて構わないから、現代における武力紛争(行使)の特質を述べよ。
- IV 「近年、国民国家のあり方が益々、国際関係に影響を及ぼすようになってきた」という言説に関して、次の問に答えよ。
- (1)「国民国家」とは何か、定義する。
  - (2)この命題に合致する事例を挙げ、その理由を述べよ。
  - (3)この命題に照らすと、内政不干涉の原則はどのように位置づけられることになるのか、考えを述べよ。